

中学生は可能性いっぱい！

昨日大湫出身の彫刻家について書いたせいか、私の脳裏に一人の生徒のことが蘇ってきました。昨日の方とは年齢も違いますし、職業も違いますが、共通点があります。それは故郷を飛び出して、ある世界で活躍しているということです。以前、旧瑞陵中時代の教え子に会った折、私はいきなりこう言われました。

「先生、N・Aを覚えとる？ 今、世界的なデザイナーになつとるんやよ！ N・Aの名前で検索すると出てくるよ。」正直言って、私には信じられませんでした。なぜなら、中学時代の彼と、その教え子が言うことが、あまりにもかけ離れていたからです。正直、「人違いでは」と思いました。

中学時代の彼は体が小さくて、友達の陰に隠れてしまう存在でした。私は彼の担任ではありませんでしたが、国語と野球を教えました。国語では特に目立つ生徒ではありませんでした。野球では一生懸命やっていました。レギュラーにはなれず、ベンチで応援することが多かった生徒でした。確か多治見工業高校のセラミック科に進学しましたので、デザイナーという仕事とは、どうしても結びつかないのです。

私は彼の名で検索してみました。すると、彼に関係するサイトがずらっと並びました。「ミラノで唯一喝采を浴びる唯一の日本人デザイナー」とか「ミラノファッションウィーク公式デザイナー」などと表現されています。もうこれは信じないわけにはいきません。小さくて、目立たず、いつもベンチのN・Aは、偉大な世界的デザイナーとして名を馳せていたのです。

検索してヒットしたサイトの中に、彼のインタビュがありました。それを読むと、彼は今に至るまでに、ずいぶん努力を積み重ねたようです。ファッションの道に進むのに親に大反対されたこと、高校卒業後一年間働き、金をためて専門学校に入ったこと、学費や生活費はバイトで工面したことなど、私の知らない彼の努力がたくさん書かれていました。まだまだ苦労はあったでしょうが、私にはそれだけで十分でした。国語と野球は人生に役に立ったかわかりませんが、教えた子が世界で羽ばたいているだけで満足です。

中学生は可能性いっぱいです。それが中学生の魅力です。彫刻家の方のように、彼は年を取ったら故郷に帰って……とは思えないかもしれませんが、仕方がないと思います。今の北中生の可能性にも大いに期待しています。(十月八日 記)



サイトにはこんな写真がずらりと！